

佐賀大学教職大学院

院生ライフレポート

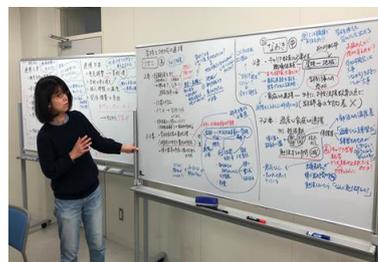


新しい年を迎えて ～むすびつき「睦月」～

2018年を迎えました。あけましておめでとうございます。とはいえもうお正月が遠い出来事のように感じられます。1月に入り、授業の開始と共に、1年次の報告会や研究授業に向けた準備が行われていて、院生室では、パソコンと沢山の本を前に眉間にしわを寄せている姿が目立つようになりました。授業は1月でほぼ終わります。何でしょう、この切なさ。20名と共に学ぶ残り僅かな授業時間を大切に過ごしたいと思う毎日です。今月は、各自調べてきたことの発表会や、研究発表会に参加しての特別授業など、授業の1コマをご紹介します。

地域との連携の必要性について

「地域と連携する学校づくりの基礎と課題(上野先生、日山先生)」の授業で、ストレートマスター(以下、ストマス)が、「地域との連携の必要性」について自分の考えを述べました。実習や授業で学んだことを活かしたストマスの意見に対して、現職教員(以下、現職)はこれまでの現場での経験を活かして意見を述べるなど、議論が深まりました。最後にグループでの意見を共有することで地域連携の必要性について深く考えることができました。



Birthday Party

1月生まれは最多の5名！似顔絵を盛り込んだケーキで今月もささやかながらお祝いしました！



平成29年度 学校教育学研究科 研究成果発表会に向けて

来る2月9日(金)、M2(2年生)による研究発表会が開催されます。限られた時間の中、最終報告書を作成されている様子が、伝わってきます。M1(1年生)にできることは、成果発表会の運営補助、そして…慰労会を盛り上げることです。案内状も現職の腕によりをかけて(来年のことを不安に思いながら)作りました。2年生の皆さんお疲れ様です。



ICT 利活用公開授業に参加しました

1月27日(土)、『教科等におけるICT利活用の基礎と課題(堤先生、中村先生)』の講義の一貫として、武雄市立武内小学校で官民一体型学校公開授業を参観してきました。また、武雄市教育委員会学校教育課課長より、武雄市の取組についての講話もいただきました。それぞれが自分の校種・教科にどのようにICT利活用を取り入れることができるかを考えながら、参観することができました。



編集者 H&N